



校区の福祉活動への補助等
15,000,017円

生活困窮者支援事業等
607,794円

歳末たすけあい募金
15,607,811円
集まりました!

新たな年を迎える時期に、誰もが安心して暮らすことができるよう、様々な福祉活動を展開するためのもの。歳末たすけあい募金は、集まった募金の全額が久留米市に戻ってきます。



「生き生きふれあい お便り交換」

鳥飼校区は、コロナの影響で多くのイベントが中止となり、人々と顔を合わせる機会が少なくなっていることが気になっていました。

そこで、鳥飼校区社会福祉協議会は、80歳以上の方に往復ハガキを送り、返信ハガキにご自身の近況を書いて送り返してもらいました。

返信されたハガキには、俳句を詠まれたものや、家族に代筆を頼まれたものもありました。これらに書かれた近況

この活動以外にも、他の校区では小学生を対象としたイベントの実施や、生活困窮者支援団体による食糧支援など、様々なかたちで歳末たすけあい募金が活用されています。



を皆さんに知ってもらうため、冊子にまとめてお届けしました。

冊子を受け取られた方からは、「お年玉みたいでうれしい」といった声をいただきました。

顔を合わせられなくても、お互いの近況を知ること、心のつながりを感じた年末年始になりました。

皆さんの気持ちつなげます

市社会福祉協議会ボランティアセンターでは、生活困窮者支援団体やフードドライブ、フードバンク活動団体等と連携し、「働きたくても仕事がない」、「収入が減少した」などの理由で生活に困っている人たちへ定期的に食糧支援を行なっています。

支援団体にとって、継続的な食糧の確保が課題となっている一方、農家では「規格外」や「出荷が間に合わない」などの理由で、野菜を廃棄せざるをえないケースもあるようです。

そこで、農家の皆さんが丹精込めて作った野菜が無駄にならないよう、ボランティアで収穫し、支援団体に提供する活動を始めています。

これまで提供していた食糧は、加工食品等が中心だったため、新鮮な野菜は特に喜ばれています。また、泥つきの大きなカブを見た子どもが、「あ、大きなカブだ！ 保育園の絵本で見た」と喜んでいた」という声も届いており、食品ロス対策だけにとどまらず食育にもつながっています。

野菜やお米などの食糧の寄付にご協力いただける方は、ボランティアセンターまでご連絡ください。

TEL0942・34・3035 FAX0942・34・3090



いつもご協力ありがとうございます

(株)リングランサ様 (北野町)
n.Fam様 (北野町)
彌永様 (山本町)